

神戸の魅力発信と集客観光の強化

めざす将来の姿（事務局の案）

- 多彩な観光資源を磨くことにより都市の魅力を高め、観光客の訪問と滞在による交流を通じ、経済や雇用への波及と市民のわがまちを愛する心の醸成し、市民生活を豊かにすることをめざします。

- ・ 都心・ウォーターフロントにおいて、港の歴史の継承とデザイン都市の具現化により、神戸らしいオンリーワンの観光資源として“みなとまち神戸”を創出します。ウォーターフロントへの都市機能の導入による賑わいの形成と、都心とウォーターフロントを一体化し都心観光の場として連檐（れんたん）させることをめざします。
また、夜景、眺望、エコ、癒しと組み合わせ、六甲山・摩耶山や有馬温泉、須磨・舞子を大都市にある自然を活かしたオンリーワンの観光資源として活用します。

- ・ 神戸のライフスタイルそのものを観光資源とし、神戸の住民にとっては日常ではあるが観光客にとっては特別な体験を提供できる着地型観光をめざします。
着地型観光を通じ、成熟した観光客のニーズを満たすこと市民のもてなす風土の醸成をめざします。

- ・ 中国の訪日個人旅行の解禁などにより増大する東アジアをはじめとする訪日観光客の神戸への訪問率の向上をめざし、多言語表記・おもてなしなど外国人観光客が容易に旅行できる受け入れ体制を整えます。

- ・ 学会を核にしたコンベンション、医療産業都市構想を活用したメディカルツーリズム、デザイン都市におけるユネスコ創造都市ネットワーク、震災経験の発信、産業観光など、都市の集客機能を活かした観光をめざします。

都市の創造性の向上

文化創生都市の推進によるまちづくりや賑わいの創出

めざす将来の姿（事務局の案）

- 豊かな自然と美しい都市の景観を持ち、開港以来の歴史などに根ざした神戸の生活文化を、市民一人ひとりが誇りとし、大切にすることで、地域文化の魅力を高め個性豊かな、住みたくなる、住み続けたいまちをめざします。
- 未曾有の震災体験で共有した思いやりや学んだ芸術は、市民生活に潤いや安らぎ、励ましや勇気を与える力であり、芸術・文化を担い、支える人材を活用し、芸術・文化あふれるいきいきとした魅力と賑わいのあるまちをめざします。
- 地域や暮らしの中で世界の文化と交流し、多様な価値観や新しい文化を取り入れながら、個性あるライフスタイルを主体的に創出し、未来に向かって進化する活力あるまちをめざします。